

丸亭素人譯  
探偵小説

# 涙美人

大形●實價廿五錢●郵稅六錢  
原書ハ米國最近出版ノ係る者アリ本書  
始テ紐育の市上ニ顯れシ且忽チ稱賛を  
得上下一般の交際社會の談柄トあり此  
書を一讀せざる者ハ其ノ文學を語る可  
からざる者ありとの謗を受るに至リ數  
十萬部ヲ賣盡したる有名なる小説あり

丸亭素人譯  
探偵小説

# 鬼車

大形●實價廿五錢●郵稅八錢

本書ハ佛國に於テ非常の喝采ヲ博せシ  
書にして探偵の至妙あるト罪人の狡猾  
あるト互ニ伎倆を戰ハス尤も面白き小  
説あり

丸亭素人譯  
探偵小説

# 暗殺

大形●實價三十錢●郵稅六錢

一喜一憂憐むべきあり怨むべきあり佛  
國有名なる革命より變シ來リテ暗殺の  
編成る至妙ある探偵不思議ある事實ハ  
紙外に溢る

桃水痴史著

# かたみかはり

實價廿五錢●郵税四錢

三遊亭圓朝一世の名作

酒井昇造筆記

安中草三

# 後開榛名梅香

中本●實價卅五錢●郵税六錢

圓朝氏口述に係る著書一度發售せし以來翁の名世に發揚し爾來活版に付する者實に數十種に至る然れども就中尤も

有名あるの此榛名の梅香の右に出る者なし實に圓朝氏第一の著書あり卷中大意を云へば義俠安中草三郎ある者親の爲に賊を爲し一度悔悟し再び主難を救ふんと欲し大賊とある其間幾多變遷或は險を犯し危人を助け或は白刃を踏で不幸を救ふ等義俠の赤心痛むべく悲しむべきあり翁が尤も得意の書冊也

松林伯圓講述

今村治郎速記

# 河内山

大形●實價廿五錢●郵税六錢

本篇の幕末の頃又在りて大欺偽を逞ふしたる河内山宗俊の實傳として松林伯圓專賣特許世話講談也